

Scouting Ibaraki

2014 vol.38

楽しく、役に立つボーイスカウト活動

第23回世界スカウトジャンボリー参加を目指して頑張ろう!

県連主催の各種プログラムに一人(単独)でも挑戦しよう!



日本ボーイスカウト茨城県連盟理事長

山田 隆士

茨城県連盟は、平成23年度に創立60周年を迎えました。県連の発展に貢献された先人の志を継承し、新たな決意として「より良き市民を育成する」ことを目標として活動を展開しております。

思い起こしますと37年前、初代理事長の佐野瑞治先生に後輩を育成すること、県連の歴史と伝統を伝えていくことを約束致しましたが、自分が次の世代にバトンタッチする重責を担う立場の理事長になるとは予想もしていませんでした。

1955年小学5年生の時、土浦に発足したカブスカウト隊入団がボーイスカウトの出発点です。1956年の第1回日本ジャンボリーには見学隊の一員として参加し、現天皇陛下が皇太子として妃殿下とともにご臨席されたことを想い出します。世界大会への参加は1959年の第10回世界ジャンボリーで、「スカウトは平和の斥候」という世界的な広がりの理念に対する共感がボーイスカウトを続ける原点となりました。

今年度開催された第16回日本ジャンボリーは2015年開催の第23回世界スカウトジャンボリーのプレ大会として行われました。本県から派遣した270人余のスカウト及び指導者は、国内はもとよりアジア太平洋地域スカウトとの交流をし、各種プログラムに参加して多くの収穫を得ることが出来たと思います。来年度開催の世界スカウトジャンボリーへの参加希望者が多くなっていることがその証ともいえます。

「グリンバーのつどい」や「イングリッシュ・シャーウィキャンプ」などに単独参加で挑戦するスカウトを心強く感じています。また、世界スカウトジャンボリーに参加した外国のスカウト達が、県内でのホームステイを希望しており、受け入れを計画しておりますので交流によるチャンスを広げていただくことを願っております。

多くのスカウトに活動の楽しさや人生にとって役立つ体験等を提供できるよう常に心がけておりますのでご協力ならびにご支援をお願いいたします。

大和の森 高萩スカウトフィールド 地鎮祭とオープニングセレモニー行われる

平成25年10月21日(火)午前10時より高萩市中戸川の山林で地鎮祭とオープニングセレモニーが行われた。当日はボーイスカウト日本連盟(奥島孝康理事長)が野外活動や環境教育の拠点として計画している「大和の森高萩スカウトフィールド」で草間高萩市長、桜井ボーイスカウト振興茨城議員連盟会長、小野寺茨城県教育長、原納大和ハウス工業執行役員等、約40名が参加した。

地鎮祭は地元神社の宮司によって修祓、降神に始まり、地鎮は日本連盟の佐野理事長の鎌入れ、奥島理事長による鍬入れ、山田県連理事長による土入れを行った。続いて玉串奉奠、昇神まで、滞りなく行われた。続いて行われたオープニングセレモニーでは国旗儀礼、奥島理事長挨拶、来賓紹介、吉田常務理事による弥栄が行われた。

高萩スカウトフィールドは5つのエリアで構成されているが、平成25年度にはサイト予定地に仮設トイレおよび井戸の設置の予定である。26年度には整備作業の拠点としての駐車スペース、資材仮置き場などを確保し、合わせて実験的な使用の為の広場を確保し、500名規模の開拓キャンプの実施を計画していると挨拶がなされた。



大和の森 高萩スカウトフィールドで 「GB のつどい(シルバーアックス)」を実施

平成25年11月3日～4日に高萩市中戸川の高萩スカウトフィールドにて茨城県連盟主催の「グリンバー(GB)のつどい」が行われた。(GB)とは班の班長・次長のこと言う。

- ①森の学校(シルバーアックス)
- ②スカウティング基本セミナー(班制度)
- ③キャンプファイア
- ④GB何でも相談

が行われ、充実した2日間を過ごした。特に講師やスタッフと参加者が距離を感じない雰囲気で行われ、学ぶもののが多かったとの感想があった。

参加者はスカウト48名、引率指導者23名、講師13名、主催者とスタッフ16名、来賓3名と100名程度のキャンプとなった。参加団は14個団を数えた。



イングリッシュシャワーキャンプ 土浦青少年の家で開催

12月21日(土)～22日(日)に茨城県連盟のイングリッシュシャワーキャンプが土浦青少年の家で行われた。

本来、英語をシャワーのように浴びてのキャンプですが、今回はみんなでワイワイガヤガヤと英語で楽しむ「つどい」として行われた。

英語のグループ名と英語のニックネームを付けて班旗を作り、英語のスキットと英語のダンスを創った。

「乙戸のクリスマス」というテーマで各グループの発表とリーダーの出し物で楽しい時間を過ごしていた。

「英語で」の条件が出されていたがスカウト達は積極的に話そうとしていた。

また、県連が行った海外派遣の写真による紹介があり、スカウトから質問が多数出され、関心の高さが伺えた。最後に英語を随所に用いたスカウティングゲームを行ったがスカウト10チームと保護者1チームの対抗戦で大いに盛り上がった。

定員30名に100名を超える申し込みがあり、全員を受け入れて実施されたが運営も上手にでき、スカウト達からも好評であった。



第38回 全国高等学校総合文化祭 プレ大会に44名が奉仕

平成25年10月12日(土)に「つくばカピオ」で第38回全国高等学校総合文化祭プレ大会が行われ、スカウト44名が開会式とパレードの奉仕を行った。



平成25年度 指導者の集い を実施 (笠間市 北山公園)

平成26年2月2日（日）笠間市 北山公園を会場として行われた。今回は「隊指導者にスカウト活動の楽しさを体験してもらい、隊のプログラム改善につなげる。」ことを目的として実施された。

県下の指導者21名が集まり、コミッショナー、トレーニングチーム13名と指導者養成委員会5名の指導の下にオリエンテーションの後、救急法、計測、野営工作、ソング、手旗そして薪割りと内容が豊富なハイキング。その後、保存食による野外料理が行われ、中身の濃い指導者の集いとなった。



(財)ボーイスカウト茨城県連盟維持財団 近況

平成26年2月22日（土）に平成25年度第2回理事会および評議委員会が開催されました。

平成26年度の事業計画・収支予算について協議し、平成26年度も変わらず、茨城県連盟のスカウト運動のために、財政的援助を目的に活動していくことが承認されました。

また、平成26年4月1日からは「一般財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団」に移行し、助成事業を継続してまいりますので、皆様のより一層のご支援をお願いいたします。

なお、維持会員へのご入会は随時受け付けておりますので、ご入会を希望されるかたは、茨城県連盟事務局までご連絡ください。

竹本 俊一氏の知事表彰祝賀会

平成26年1月26日に当連盟の副連盟長である竹本俊一氏の茨城県知事表彰受章記念祝賀会が水戸市レイクビューホテル鳳凰の間において、立原維持財団理事長、橋本長老のご出席を頂き、総勢52名の参加者で盛大に行われた。

八木事務局長の司会により、山田理事長の挨拶、佐野副連盟長のお祝いのことばに続き、乾杯、歓談、橋本長老をはじめとするたくさんの祝辞、竹本副連盟長自らの答辞、エピソード紹介と続き、各テーブル毎の記念撮影など、楽しく、感動もあり、そして談笑の絶えることないひとときを過ごしました。



つくば3団がフィリピンへの募金活動を実施

12月8日につくば3団では各隊合同のユニセフ募金活動を実施した。今年は「先月フィリピンで起きた台風で被害にあった人たちへの支援」を目的とした募金活動を山新グランステージつくば店の協力を得て、店頭をお借りして実施しました。

募金を始める前にスカウト達は台風により大きな被害を受けた、現場の写真を見て話し合い、団委員長と隊長から募金の重要性を学びました。ビーバースカウト達は保護者の皆さんと一緒に、冬の寒空に向けて大きな、元気な声で、募金を呼びかけてくれました。カブスカウト、ボーイスカウト達の大きな呼びかけの声もあって 66,517 円の募金が集まり早速、ユニセフ協会を通して現地に届けることとしました。身体も心も充実した爽やかな 1 日となりました。



水戸まちなかウォークラリー2013

平成 25 年 12 月 7 日 第 2 地区のカブ隊合同集会を実施しました。テーマを「水戸まちなか再発見！」とし、市民との交流を通してスカウト活動の認識や普及を深めることを目的に行いました。各団のスカウト達は、街の自然や文化、歴史、街並み、人情などに触れ、親しみが持てる楽しいイベントを実施することができました。

午前 9 時 30 分、旧県庁の三の丸合同庁舎広場に集合、第 2 地区カブスカウト 7 個団(10 組)、指導者、団委員、地区役員、保護者、総勢 112 名が参加しました。開会式後、10ヶ所のチェックポイントを目指し元気にスタートしました。常磐神社を目指すチーム、団子屋さんを目指すチーム等、チェックポイントではゲームや歌、等々楽しいひと時を過ごし時間内の 14 時 30 分すべての組がゴールしました。水戸第 1 団カブ隊が全てのポイントをクリアし優秀賞を取りました。

年末の忙しい時期に、水戸駅周辺や繁華街でスカウト活動を PR 出来て大変良かったと思いました。



筑西第1団発団50周年記念式典

平成 25 年 11 月 10 日、茨城県県西生涯学習センターで、筑西第 1 団の発団 50 周年記念式典が、ガールスカウト茨城県第 28 団発団 30 周年記念式典と合同で『祝う会』として行われました。両団は、ともに光徳寺を団本部、活動の拠点としており、合同で行事を行なうなど友好関係にあります。式典には、筑西市長、県連盟副連盟長などの来賓のほか地区内各団のスカウト・指導者、保護者、育成会員など多くの皆様が参加され、盛大に行なわれました。『式典の主役は、スカウトである』とし、司会進行はもちろんのこと、運営のほとんどをスカウトが担当しました。また、上進式での“ちかい”、手旗信号のゲーム、スカウトの決意表明などを取り入れ、スカウト活動を理解してもらえるような内容にしました。

なお、当団の 50 年を支えていたいたい団体には感謝状を贈呈し、最後に育成会長から参加者全員に謝辞を述べ、閉会しました。



水戸京成前でクリスマスキャロリングが行われる

水戸京成百貨店前でボーイスカウトとカトリック水戸教会とでクリスマスキャロリングが行われた。

恒例となったこの行事はカトリック水戸教会の日曜学校、ボーイスカウト水戸 5 団、ガールスカウト茨城 29 団が合同で毎年 12 月 23 日午後 2 時から行ってきたが今年もボーイスカウト水戸 1 団、ボーイスカウト那珂 3 団の参加を得て、盛大に行われた。京成百貨店も大変協力的で、ステージと客席の設営とシンセサイザー、マイク、スピーカーの提供を行っている。

当日は予定通りの時間に開宴し、スカウト達も 5 回の練習成果を発揮し、大きな声でアンコールを入れて 12 曲を熱唱した。曲の合間には台詞が入り、スカウトによる指揮も行われ、道行く人も立ち止まり、しばしの音楽に聞きほれていた。

参加したボーイ隊の袴塚君は「今年は声が良く出ていた。赤鼻のトナカイが特に良かった。でも自分としてはセリフと最後の挨拶の声が小さかったと思う。今年もみんなと一緒に楽しく歌い嬉しかった」またカブ隊の菊池君は「僕はセリフも上手く言えたり、歌も歌えたので、ホッとしています。おめでとクリスマスが一番好きです。なぜかというと楽しい感じがしてみんながニコニコになるからです。神父様も真ん中の席で見守ってくださり、みんなから拍手をいっぱいもらって、身体もポカポカ温かくなり、気持ちも良かったです。来年も頑張りたいです。」との感想をいただきました。

